

佐久市学校教育の目指す子ども像
「夢や希望をもって輝き、
共に生きる子ども」

○すべての子どもが意欲を持って学習に参加し、共に学び合う授業づくり

○小から中へと学びをつなげていく教育の推進

○コスモスプラン
(読むこと・書くこと・行うこと)

学校教育目標
「清く・正しく・たくましく」
①素直で明るく、優しい心をもった子(情)
②よく考えて正しく判断し、行動できる子(知)
③丈夫な体と粘り強い心をもった子(意)(体)

保護者・地域の願い
○安心して子どもを託せる学校
○子どもたちが日々楽しみにする学校
○地域と共にある学校
☆自分たちの地域に誇りと愛情をもち心豊かに育てほしい

保護者・地域との連携
○「早寝、早起き、朝ご飯」運動の推進
○メディアコントロールへの取り組み
○コミュニティ・スクールによる地域と協働した学習支援

めざす子ども像

しっかり聞いて、はっきり話す泉の子

自分で考えて、行動する泉の子

すすんで学び、力をのばす泉の子

合言葉

笑顔であいさつ、すすんで学ぶ、泉の子

重点目標

児童理解と心の居場所づくり

学力向上

「主体的に学ぶ」児童の育成
学んだことを生かした、
問題解決学習

すべての児童が安心して学校・
学級生活を送れる学校
いじめや不登校を生まない学校

落ち着いた学校・学級づくり

落ち着いた雰囲気のある学校
学級づくり

そのために

1 自らの力を伸ばし、ともに学び合う授業づくり

低学年
遊びを通して、試行錯誤できる場の確保
「わかった、できた、いっしょにできた」

中学年
根拠を明確にし、理解したことを伝える学習
「話す、書く、伝え合う」

高学年
自らの課題を追究していく学習
考えを「持つ、持ち寄る、深める、解決していく」

2 学習内容の定着

・基礎、基本の定着を目指した、繰り返し学習
・「泉タイム」の有効活用と、個別指導の充実

3 子どもの学びを支える取り組みの充実

・全国学力、学習状況調査の早期採点と分析
・外部機関と連携した授業づくり
・振り返りと、まとめの充実
(1時間の授業、単元の終末、学期末)
・子どもの実態をとらえた、具体の姿から学び合う職員研修

4 家庭学習の充実

・これまでの学年の復習。授業と連動させた学習内容の定着
・既習を生かした、チャレンジ問題
・家庭学習の習慣化

5 その他

学習支援ボランティアとの連携

1 人との温かい関係づくり

・誰にでもあいさつができる子ども
(学校、家庭、地域を結ぶ)
・自分を大切に、友達も大切にできる子ども
(友達の呼び方)
・人の話に耳を傾ける子ども
・発達段階に応じた他者理解ができる子ども
・わからないと素直に言える子ども
・他者とのコミュニケーションを積極的に
とろうとする子ども
・一人ひとりが自分の役割に責任をもち、
意欲的に活動できる子ども

2 異年齢集団による交流活動の推進

・低学年児童と高学年児童との交流
(1・6年、2・5年、3・4年)
・縦わりなかよし清掃
・児童会祭り
・ペア読書、読み聞かせ

3 Q-U検査の分析・活用

(楽しい学校生活を送るためのアンケート)
・年2回実施
検査結果を基にした、子どもとの相談週間の設定

4 いじめ防止のため、教職員の共通理解・連携・チーム支援を重視した総合的な取り組み

・いじめ不登校の早期発見、早期対応
・児童理解の時間設定と、校内支援会議の推進
・スクールカウンセラー、
スクールメンタルアドバイザー等との連携

1 集団生活の環境を整える

・「学校のきまり」の必要性を理解し守る子ども
・教室の環境整備
・靴のかかをと揃える指導

2 静かな時間の確保

・朝の読書、「泉タイム」の充実
・無言清掃を通して、生活場所を整える気づき清掃

3 休み時間や体育を通して、思いっきり体を動かし心と体の健康を図る

4 学級・学年の活動、児童会活動等の充実と、自己肯定感、自己有用感の醸成(役割を果たす姿を承認し、児童のよさを伸ばす活動)

コミュニティ・スクールの推進

～地域とともにある学校づくりに向けて～

・運営委員会、推進委員会との連携
・学校支援ボランティアの組織化
等